

# 頌栄

No. 116

日本キリスト教団 頌栄教会

〒155-0031

世田谷区北沢 1-42-10

Tel 03-3467-3664

Fax 03-3467-8332



## あなたは祝福の源となる

牧師 清弘 剛生

「あなたは生まれ故郷、父の家を離れて、わたしが示す地に行きなさい。」創世記12・1

そのように主はアブラム（後のアブラハム）に言われました。神の導きに従って旅をきなさい、と。それは、どこまでも私に信頼して生きていきなさい、という呼びかけに他なりませんでした。こうしてアブラムは信仰の旅への一歩を踏み出したのです。

主はさらに言われました。「わたしはあなたを大いなる国民にし、あなたを祝福し、あなたの名を高める、祝福の源となるように。」 同12・2

主がアブラムを「祝福する」のは、アブラムが「祝福の源と

なる」ためでした。ちなみに「祝福の源となる」というのは意識です。原文は「祝福となる」と書いてあるのです。

私たちが神に信頼し神と共に生きるの、単に私たち自身が祝福されるためではありません。私たち自身がこの世界に与えられた祝福となるためです。私たちが生きていることが、誰かにとっての祝福となるためです。そのために必要なことは何か。祝福は神から来るのです。だから私たちは誰かにとっての祝福となるとするならば、必要なことはどこまでも神に信頼して神と共に歩む人となることなのです。

その具体的な姿は、続く物語の中で「祭壇を築いた」という言葉の繰り返しによって表されています。彼は行く先々で、重い石を積み重ね、そこに祭壇を築いたのでした。それはどこに置かれても、祈りと礼拝の生活を築いたということでしょう。

11月第二主日は、毎年「子ども祝福礼拝」を共におさげし、子どもたちのために祝福を祈り求めます。しかし、私たちが子どもたちのために祝福を求めらるなら、まず私たち自身が彼らにとって祝福となることを求めなくてはなりません。まず教会の大人たちがしっかりと祭壇を築くことです。すなわち、どこに行っても、どのような環境に置かれても、神に祈り、神を礼拝する生活をしっかりと築くことです。

(11・12 子ども祝福礼拝説教より)